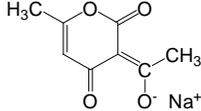
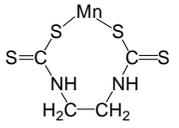
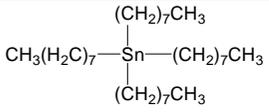
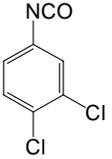
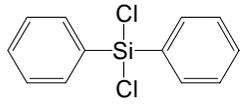
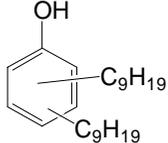
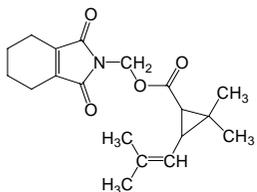
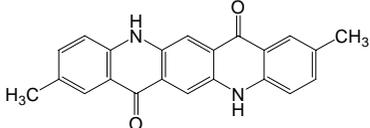
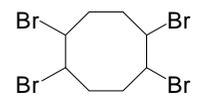
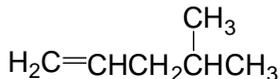
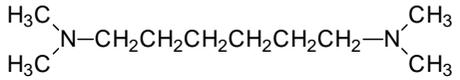
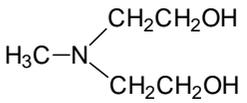
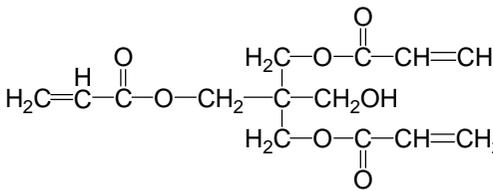
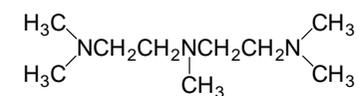
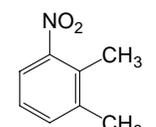
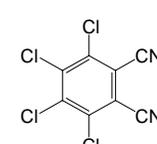
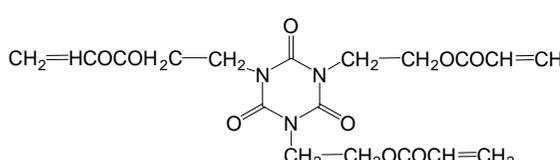
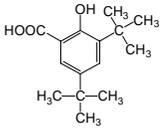
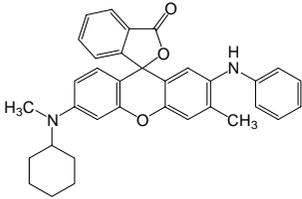
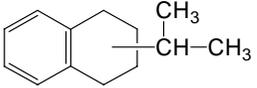
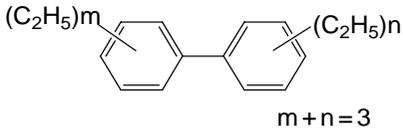


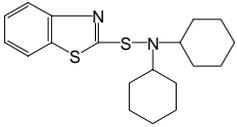
平成17年9月 既存化学物質点検(分解・蓄積)結果資料 第47回審査部会

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1625	3-アセト-6-メチル-2-ピロノンナトリウム塩 (4418-26-2) 5-0676 	BOD: 77, 77, 77 (77) TOC: 99, 99, 99 (99) HPLC: 100, 100, 100 (100)			良分解性	なし
683B	{ [エチレンビス(カルバモジチオアト)](2-) } マンガン (12427-38-2) [PRTR 1-49] 2-1841 	BOD: 1, 1, 0 (1) HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は変化し、2-イミダゾリジンチオン、1,2-エチレンビスジチオカルバミン酸及び1,3,6-チアジアゼピン-2,7(3 <i>H</i> ,6 <i>H</i>)-ジチオンを生成し、残留した。	有機金属のため適用外		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討
1427	テトラオクチルスタナン (3590-84-9) 2-2270 	BOD: 3, 3, 0(-2) (2) HPLC: 0, 1, 3 (1)	有機金属のため適用外		難分解性	濃縮度試験
1496	イソシアン酸-3,4-ジクロロフェニル (102-36-3) 3-2489 	BOD: 0(-1), 0(-4), 0(-2) (0) HPLC: 100, 100, 57 (86) 被験物質は変化して、3,4-ジクロロアニリン及び3,3',4,4'-テトラクロロジフェニル尿素を生成し、残留した。	3.88 ⁻¹		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討
1640	ジクロロジフェニルシラン (80-10-4) 3-2634 	BOD: 0, 0(-1), 0 (0) GC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は加水分解し、ジフェニルシランジオールを生成し、残留した。	5.06 ⁻¹		難分解性	変化物(ジフェニルシランジオール)の分配係数試験
1648	ジノニルフェノール (1323-65-5) 3-0526 	BOD: 2, 1, 2 (2) HPLC: 35, 11, 46 (31) 被験物質は汚泥へ吸着することが認められ、汚泥からの脱着が困難であった。	10.47 ⁻¹		難分解性	濃縮度試験

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1672	<i>N</i> -(3,4,5,6-テトラヒドロフタルイミド)メチル-D,L-シス,トランス-クリサンテメート (7696-12-0) 9-0839 	BOD : 4, 0, 1 (2) HPLC: 41, 33, 32 (35) 一部加水分解して、2,2-ジメチル-3-(2-メチル-1-プロペニル)-シクロプロパンカルボン酸(シス,トランス体)及び <i>N</i> -ヒドロキシメチル-3,4,5,6-テトラヒドロキシフタルイミドを生成し、残留した。	5.54 ^{*1}		難分解性	濃縮度試験
1703	2,9-ジメチルキナクリドン (980-26-7) 5-1168 	BOD : 0(-3), 0(-3), 0(-4) (0) 重量法 : 6, 4, 0 (3)	2.47 ^{*1}		難分解性	被験物質を溶解する溶媒がないため今後検討
1715	1,2,5,6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8) 3-2254 	BOD : 0(-16), 2, 0(-1) (1) G C : 1, 0, 1 (1)	5.24 ^{*1}		難分解性	濃縮度試験
899A	4-メチル-1-ペンテン (691-37-2) 2-0022 	BOD : 0, 1, 3 (1) G C : 3, 1, 2 (2) 判定結果 難分解性 (H14年 1月 29日)	3.38 (フラスコ振とう法)	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1255	<i>N,N,N,N</i> -テトラメチルヘキサメチレンジアミン (111-18-2) 2-0156 	BOD : 1, 2, 0 (1) TOC : 0, 0, 0 (0) G C : 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H9年10月28日)	2.10 (pH12) (フラスコ振とう法) 1.70 ^{*1}	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1265	<i>N</i> -メチルジエタノールアミン (105-59-9) 2-0300 	BOD : 22, 0, 0 (7) TOC : 60, 5, 5 (23) HPLC: 65, 6, 4 (25) 判定結果 難分解性 (H9年7月30日)	<0.5 (pH9.6) (HPLC法) -1.50 ^{*1}	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1278	トリアクリル酸ペンタエリトリール (3524-68-3) 2-1003 	BOD: 17, 6, 12 (12) HPLC: 95, 76, 83 (85) 入手試料は変化し、モノアクリル酸ペンタエリトリール、ペンタエリトリール(難分解性、高濃縮性でない)及びアクリル酸(良分解性)を生成した。アクリル酸は分解し、被験物質、不純物のジアクリル酸ペンタエリトリール、トリアクリル酸ペンタエリトリールモノカルバルデヒド及び変化物のモノアクリル酸ペンタエリトリール、ペンタエリトリールは残留した。 判定結果 難分解性 (H11年4月27日)	1.1 (HPLC法) 0.91 ⁻¹	分配係数から類推(被験物質のlog Powは1.1。モノアクリル酸ペンタエリトリールは被験物質より極性が高い。ペンタエリトリールは高濃縮性でない判定済み。)	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1379	N-メチル-N,N-ビス(2-ジメチルアミノエチル)アミン (3030-47-5) 2-0147 	BOD: 0, 0, 0 (0) TOC: 0, 0, 1 (0) G C: 0, 1, 1 (1) 判定結果 難分解性 (H12年7月26日)	0.04 (pH12) (フラスコ振とう法) -0.57 ⁻¹	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1450	2,3-ジメチルニトロベンゼン (83-41-0) 3-0399 	BOD: 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H13年3月27日)	2.85 (フラスコ振とう法) 2.83 ⁻³	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1481	テトラクロロフタロニトリル (1953-99-7) 3-1783 	BOD: 2, 0, 0 (1) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H12年6月21日)	3.00 (フラスコ振とう法)	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1597	トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル (40220-08-4) 5-1060 	BOD: 24, 0, 12 (12) TOC: 44, 16, 49 (36) HPLC: 100, 53, 100 (84) 被験物質は試験液中で変化し、被験物質より極性が高いトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸、トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸モノアクリル酸エステル及びトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸ジアクリル酸エステルが残留した。 判定結果 難分解性 (H14年5月29日)	1.9 (HPLC法)	分配係数から類推(被験物質のlogPowは1.9。変化物はいずれも被験物質より極性が高い。)	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1650	3,5-ジ- <i>tert</i> -ブチルサリチル酸 (19715-19-6) 3-3034 	BOD: 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 2, 0 (1) 判定結果 難分解性 (H15年5月20日)	6.06 ⁻¹	1区: 2.4~4.1 2区: 23 脂質含有率 開始前 3.38% 終了後 3.02%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1655	3-(<i>N</i> -シクロヘキシル- <i>N</i> -メチルアミノ)-6-メチル-7-アニリノフルオラン (55250-84-5) 5-3631 	BOD: 0(8),0(-6),0(-3)(0) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H15年6月20日)	8.60 ⁻¹	1区: 2400 2区: 2500 脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 3.80%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1714	イソプロピルテトラヒドロナフタレン (26916-60-9) 4-0577 	BOD: 3, 2, 1 (2) GC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H16年3月17日)	5.28 ⁻¹	ピークA 1区: 2000 2区: 1400 ピークB 1区: 2000 2区: 1900 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
264C	トリエチルジフェニル (42343-17-9) 4-0016  m+n=3	BOD: 0, 0, 0 (0) GC: 5, 1, 1 (2)	6.87 ⁻¹	ピークA 1区: 2400 2区: 5800 ピークB 1区: 1100 2区: 1600 ピークC 1区: 1800 2区: 5300 ピークD 1区: 1400 2区: 1400~3700 ピークE 1区: 790 2区: 1300 開始前 3.30% 終了後 4.73%	難分解性 高濃縮性	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1231	<i>N,N</i>-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド (4979-32-2) 5-0526 	BOD : 0, 0, 0 (0) HPLC: 4, 6, 0 (3) 判定結果 難分解性 (H7年3月24日)	4.80以上 (フラスコ振とう法)	脂質含量 1区: 15 ~ 80 3.9% 2区: 74 ~ 316 3.9% 3区: 331 ~ 916 4.0% 4区: 1150 ~ 3950 4.0% 5区: 3380 ~ 7310 3.7% 6区: 6000 開始前 2.58% 終了後 2.10%	(難分解性) 高濃縮性	なし

*1 Kowin v1.66 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

*2 The Physical Properties Database (Syracuse Reserch Corporation)による実測値

*3 Deneer, JW et al.(1987)による実測値

[実施機関] K-683B

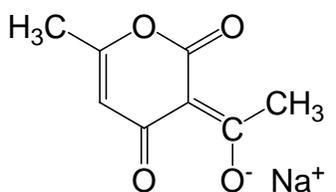
K-1625,1640,1648,1672

上記以外

株式会社 三菱化学安全科学研究所

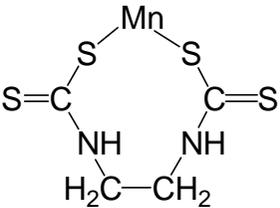
株式会社 日本医学臨床検査研究所

財団法人 化学物質評価研究機構

整理番号 K-1625 (NEDO 299,5-0676)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
3-アセト-6-メチル-2-ピロノンナトリウム塩	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日
(4418-26-2)	試験期間 16.11.2~17.1.25	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 ㊟・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₇ NaO ₄ 分子量 190.13	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 77, 77, 77 (77)% 直接 TOC 99, 99, 99 (99)% HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.4%	外観 白色結晶性粉末		
不純物(物質名,含有率) 残り0.6%は不明	溶解度(対水,その他) 対水*2 33wt%(25)	審査部会 第47回 17年9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 測定不可 (270 から淡黄色に変化) (一水和物として)	1-オクタノール/水分配係数	判定	判定
密度 1.443g/cm ³ (25) (一水和物として)		備考	備考
LD50 500 mg/kg (ラット,経口)	安定性	1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 試験液を直接分析機器に導入。	
IRチャートの有無 ㊟・無		2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所	
用途*3 保存料、有機合成剤(可塑剤)			
生産量(年)			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Hazardous Substances Data Bank (U.S. National Library of Medicine)(2004/11)による。

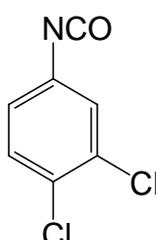
*3 14705の化学商品(化学工業日報社)による。

整理番号 K-683B (NEDO 24, 2-1841)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
{[エチレンビス(カルバモジチオアト)](2-)}マンガン	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日
[別名: マンネブ] (12427-38-2)	試験期間 17. 1.19~17. 3.16	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
PRTR 1-49	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₄ H ₆ MnN ₂ S ₄ 分子量 265.30	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 1, 1, 0 (1) 直接 HPLC 100, 100, 100 (100)	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 90.2%	外観 灰黄色粉末		
不純物(物質名, 含有率) 残り 9.8%については不明	溶解度(対水, その他) 対水*4 216~230mg/L	審査部会 第 47 回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 192~204 (分解)		判定	判定
沸点	1-オクタノール/水分配係数 有機金属のため適用外	備考	
比重*2 d ₄ ²⁵ 1.92		1.回収率 (水+被験物質)系 84% (汚泥+被験物質)系 84%	
LD ₅₀ *3 4,500mg/kg(ラット,経口) 4,000mg/kg(マウス,経口)	安定性	3. 特記事項 ・被験物質は変化し、2-イミダゾリジンチオン(5-0432, 難分解, 低濃縮)を64~68%、1,2-エチレンビスジチオカルバミン酸(2-1808, log Kow = 0.62*5)を2~3%、1,3,6-チアアジアゼピン-2,7(3H,6H)-ジチオン(新規物質, log Kow = -1.00*5)を15~21%生成し、残留した。また、総マンガンとして100~112%検出された。	
IRチャートの有無 有・無		2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所	
用途*3 殺菌剤			
生産量(年)			
試料 購入先 和光純薬工業 残留農薬試験用			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002)による。 *3 有機化合物辞典(講談社)による。
*4 <http://www.cdpr.ca.gov/docs/empmp/pubs/fatememo/maneb.pdf> (2004/11)による。 *5 Kowwin v 1.66 による計算値。

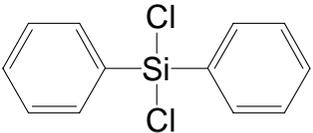
整理番号 K - 1427 (NEDO298, 2 - 2270)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
テトラオクチルスタンナン (3590-84-9)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17.2.2 ~ 17.4.21	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状 $\begin{array}{c} (\text{CH}_2)_7\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_3(\text{H}_2\text{C})_7-\text{Sn}-(\text{CH}_2)_7\text{CH}_3 \\ \\ (\text{CH}_2)_7\text{CH}_3 \end{array}$ 分子式 $\text{C}_{32}\text{H}_{68}\text{Sn}$ 分子量 571.59	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 3, 3, 0(-2) (2)% 直接 HPLC 0, 1, 3 (1)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 100%	外観 無色液体		
不純物(物質名, 含有率)	溶解度(対水, その他) 対水 10mg/L 以下(25) 対テトラヒドロフラン 10g/L 以上 対酢酸エチル 10g/L 以上	審査部会 第 47 回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点		判定	判定
沸点*2 224 (1.3hPa)	1 - オクタノール / 水分配係数 有機金属のため適用外	備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 93.1% (汚泥 + 被験物質)系 93.8%	備考
密度*2 0.9605 g/cm ³ (20)			
LD ₅₀ *2 >4000mg/kg(oral, rat)	安定性	備考	備考
IRチャートの有無 有・ 無			
用途		2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
生産量(年)		3.特記事項 ・分解度が負の値に算出されたため、 カッコ内にその計算値を示す。	
試料 購入先 Merk Ltd. 商品名 TETRAOCTYL TIN FOR SYNTHESIS			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 HPLC による。 *2 IUCLID Dataset(2000)による。

整理番号 K-1496 (NEDO301,3-2489)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
イソシアン酸-3,4-ジクロロフェニル (102-36-3)	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 16.11.26~17.4.19	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₇ H ₃ Cl ₂ NO 分子量 188.01	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0(-1),0(-4),0(-2)(0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 100,100, 57 (86)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 98.9%	外観 白色結晶		
不純物(物質名,含有率) 残り1.1%は不明	溶解度(対水,その他) 対水 変化のため測定不可 対メタノール 10g/L以上	審査部会 第47回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 41		判定	判定
沸点*2 243.1 (1013hPa)	1-オクタノール/水分配係数*4 log Kow = 3.88	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 試験液をアセトニトリルで希釈して分析機器に導入。 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3.特記事項 ・被験物質は全て又は一部変化し、3,4-ジクロロアニリン(3-0261,K-243,S52.3.15(31)難分解 S53.12.18(48)低濃縮、log Kow = 2.37*4)及び3,3',4,4'-テトラクロロジフェニル尿素(新規物質、log Kow = 5.55*4)を生成し、残留した。 ・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。	
密度*2 1.39g/cm ³ (50)			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*3 ウレタンホーム原料、農薬合成原料			
生産量(年)			
試料 購入先 東京化成工業			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

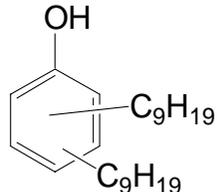
*1 東京化成工業添付資料による。 *2 International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。

*3 有機化合物辞典(講談社)による。 *4 Kowwin v 1.66 による計算値。

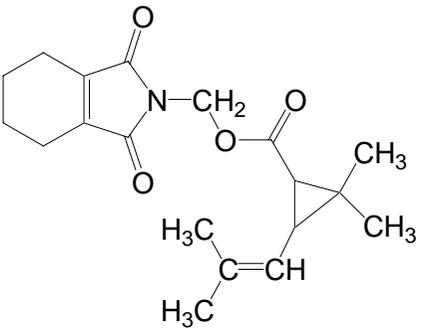
整理番号 K - 1 6 4 0 (N E D O 2 0 7 , 3 - 2 6 3 4)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ジクロロジフェニルシラン (80-10-4)	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 16.11.4~16.12.28	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₂ H ₁₀ Cl ₂ Si 分子量 253.20	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, 0(-1), 0 (0)% 直接 GC 100, 100, 100(100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 100.0% 外観 無色澄明液体			
不純物(物質名,含有率)	溶解度(対水,その他) 対水 水中変化のため測定不可	審査部会 第47回 17年9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -22		判定	判定
沸点*3 304~305	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.06*4	備考 1.回収率(ジフェニルシランジオール) (水+被験物質)系 101% (汚泥+被験物質)系 104% ・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。 2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所 3.特記事項 ・被験物質は試験液中で加水分解し、ジフェニルシランジオール(3-2638, logKow=2.03*4)を99~107%生成し、残留した。	
比重*3 d ₄ ²⁵ 1.218			
LD50	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量(年)			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002/5)による。

*3 有機化合物辞典(講談社)による。 *4 Kowwin v 1.66 による計算値。

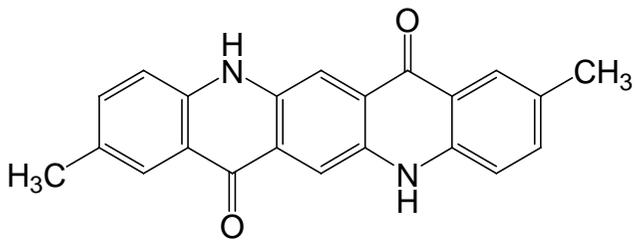
整理番号 K - 1648 (NEDO217,3-0526)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ジニルフェノール (1323-65-5)	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 14.12.10~15.1.23	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₂₄ H ₄₂ O 分子量 346.59	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 2, 1, 2 (2)% 直接 HPLC 35, 11, 46 (31)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度* 99%	外観 淡黄褐色粘稠液体		
不純物* (物質名, 含有率) 水分 0.007% フェノール及び不明物 0.993%	溶解度(対水, その他) 測定不可(多成分であり、正確な溶解度は得られないと判断した。)	審査部会 第47回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 測定不可(多成分のため)		判定	判定
沸点 測定不可(多成分のため)	1 - オクタノール/水分配係数 log Kow = 10.47 (Kowin v 1.66 による計算値)	備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 97.7% (汚泥 + 被験物質)系 96.5% 2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所 3.特記事項 ・提供試料は HPLC 分析でピーク数 20~30 本の多成分の混合物である。 ・被験物質は汚泥に吸着することを確認した。	備考
密度* 0.911 g/cm ³ (20)	安定性		
LD50			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量(年)			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

* 提供先添付資料による。

整理番号 K - 1672 (NEDO243,9-0839)	分解度試験	分解度試験	分解度試験															
N-(3,4,5,6-テトラヒドロフタルイミド)メチル-D,L-シス,	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日															
トランス-クリサンテメート	試験期間 16.11.11~17.2.15	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .															
[別名:テトラメトリン] (7696-12-0)	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮															
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₉ H ₂₅ NO ₄ 分子量 331.41	試験濃度	試験濃度	試験濃度															
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L															
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L															
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間															
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">試験結果</td> <td>間接</td> <td>BOD 4, 0, 1 (2)%</td> <td rowspan="2">試験結果</td> <td>間接</td> <td></td> <td rowspan="2">試験結果</td> <td>間接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接</td> <td>HPLC 41, 33, 32 (35)%</td> <td>直接</td> <td></td> <td>直接</td> <td></td> </tr> </table>	試験結果	間接	BOD 4, 0, 1 (2)%	試験結果	間接		試験結果	間接		直接	HPLC 41, 33, 32 (35)%	直接		直接			
試験結果	間接		BOD 4, 0, 1 (2)%	試験結果		間接			試験結果	間接								
	直接	HPLC 41, 33, 32 (35)%	直接			直接												
純度*1 98.6%	外観 微黄色固体																	
不純物(物質名,含有率)	溶解度*2(対水,その他) 対水 1.83 mg/L(25)	審査部会 第47回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催															
融点*2 68~70		判定	判定															
沸点*2 180~190 (0.1 mmHg)	1-オクタノール/水分配係数*3 log Pow = 5.54	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 試験液をアセトニトリルで希釈して分析機器に導入。 2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所 3.特記事項 ・被験物質は一部加水分解して、2,2-ジメチル-3-(2-メチル-1-プロペニル)-シクロプロパンカルボン酸(シス,トランス体,新規物質, log Kow = 3.49*3)及びN-ヒドロキシメチル-3,4,5,6-テトラヒドロキシフタルイミド(5-0093, log Kow = -0.59*3)を生成し、残留した。	備考															
比重*2 d ₄ ²⁰ 1.108																		
LD50*2 >20 g/kg (oral, rat)	安定性																	
IRチャートの有無 (有)・無																		
用途*4 殺虫剤																		
生産量(年)																		
試料 購入先 AccuStandard																		
経済産業公報発表年月日	年 月 日																	

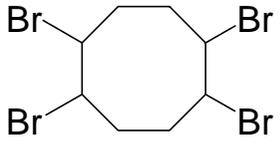
*1 GCによる。 *2 Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002/8)による。 *3 Kowwin v 1.66による計算値。

*4 環境保健クライテリア 98による。

整理番号 K-1703 (NEDO273,5-1168)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2,9-ジメチルキナクリドン (980-26-7)	事業対象年度 平成16年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 17.2.4~17.4.12	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₂₂ H ₁₆ N ₂ O ₂ 分子量 340.37	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0(-3),0(-3),0(-4)(0)% 直接 重量法 6, 4, 0 (3)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.9%以上	外観 赤色粉末		
不純物(物質名,含有率)*1 水分 0.1%未満	溶解度(対水,その他) 対水 0.8 mg/L 以下(25) (参考値) 対テトラヒドロフラン 100 mg/L 以下 対クロロホルム 100 mg/L 以下 対ジメチルホルムアミド 100 mg/L 以下 対ジメチルスルホキシド 100 mg/L 以下 対ヘキサフルオロイソプロパノール 100 mg/L 以下	審査部会 第47回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 400 以上	1-オクタノール/水分係数 log Kow = 2.47 (Kowwin v 1.66 による計算値)	判定	判定
沸点 測定不可		備考	備考
比重*1 1.6		1.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 2.特記事項 ・被験物質を溶解する溶媒がないため、重量法で直接定量を行った。 ・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。	
LD50			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*2 塗料、インキ、プラスチックなどの着色			
生産量(年)			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 提供先添付資料による。

*2 14705の化学商品(化学工業日報社)による。

整理番号 K - 1715 (NEDO287,3 - 2254)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1,2,5,6 - テトラブロモシクロオクトン (3194-57-8)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 16.11.25 ~ 17.2.4	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 標 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₁₂ Br ₄ 分子量 427.80	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0(-16), 2, 0(-1)(1)% 直接 GC 1, 0, 1 (1)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 98.3%	外観 白色粉末		
不純物(物質名,含有率) 残り1.7%は不明	溶解度(対水,その他) 対水 10mg/L以下(25℃) 対酢酸エチル 10g/L以上	審査部会 第47回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 97~105		判定	判定
沸点 測定不可	1 - オクタノール / 水分分配係数 log Kow = 5.24 (Kowwin v 1.66 による計算値)	備考	備考
比重*2 2.37		1.回収率 (水 + 被験物質)系 95.7% (汚泥 + 被験物質)系 95.1%	
LD50	安定性	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 有 無		3.特記事項 ・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。	
用途*3 発泡ポリスチレン用難燃剤			
生産量			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 GC による。 *2 提供先添付資料による。 *3 14705 の化学商品(化学工業日報社)による。

整理番号 K-899A (NEDO101,2-0022)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
4-メチル-1-ペンテン (691-37-2)	契約 13年 3月 28日	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 13.9.7~13.12.5	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 標・揮 ○	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{H}_2\text{C}=\text{CHCH}_2\text{CHCH}_3 \end{array}$ 分子式 C ₆ H ₁₂ 分子量 84.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, 1, 3 (1%) 直接 GC 3, 1, 2 (2%)	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 98.1% 99.9%	外観 無色透明の液体		
不純物(物質名,含有率)	溶解度(対水,その他) 対水*2 48mg/L(20) 対ドデカン 10g/L 以上 対ジメチルスルホキシド10g/L 以上 対1-オクタノール 1g/L 以上	審査部会 第 11 回 14年 1月29日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -153.6		判定 難分解性	判定
沸点*3 53~54	1-オクタノール/水分分配係数 log Pow = 3.38 (フラスコ振とう法)	備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 90.1% (汚泥 + 被験物質)系 92.6%	備考
密度*1 0.662 g/cm ³ (20) 0.664 g/cm ³ (20)	LD50	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 有 ○ 無	解離定数 解離基なし		
用途			
生産量(年)			
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals(3rd Edition)による。

*3 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。 分解度試験 分配係数試験

濃縮度試験					事業対象年度 平成14年度					濃縮度試験契約					年 月 日					毒性試験	
試験期間					15. 4.21 ~ 15. 5.28					試験期間					. . . ~ . . .						
試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L(hr)魚種()			依 頼		經過			
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()																
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤														
第1濃度区					第1濃度区																
第2濃度区					第2濃度区																
第3濃度区					第3濃度区																
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()				
		終了後			日後		日後					終了後			日後		日後				
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()													
	倍率					第1		倍率													
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()													
	倍率					第2		倍率													
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()													
	倍率					第3		倍率													
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催																
判定結果					判定結果																
備考					備考																
分配係数から類推																					
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構																					

整理番号 K - 1 2 5 5 (N E D O 3 0 3 , 2 - 0 1 5 6)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N, N, N, N - テトラメチルヘキサメチレンジアミン	指示 8年 5月 13日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
(111-18-2)	試験期間 9. 7. 9 ~ 9. 9. 17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{H}_3\text{C} \\ \diagdown \\ \text{N} - \text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2 - \text{N} \\ \diagup \\ \text{H}_3\text{C} \end{array} \begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \diagup \\ \text{N} \\ \diagdown \\ \text{CH}_3 \end{array}$ 分子式 C ₁₀ H ₂₄ N ₂ 分子量 172.31	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 1, 2, 0 (1)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 TOC 0, 0, 0 (0)% G C 0, 0, 0 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 99.7%	外観 無色透明液体		
不純物 (物質名, 含有率)	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上 酢酸エチル 100 g/L 以上	判定部会 第 2 2 7 回 9年 10月 28日開催	判定部会 第 回 年 月 日開催
融点 -10 以下		判定 難分解性	判定
沸点*2 209~210	1 - オクタノール / 水分配係数 log Pow = 2.10 (pH12) (フラスコ振とう法)	備考 1. 回収率 (水 + 被験物質)系 97.9% (汚泥 + 被験物質)系 99.2% 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・ 開始時に pH 調整を行った。	備考
比重*1 d ₂₀ ²⁰ 0.8004			
LD50	解離定数 pKa1 = 9.56 pKa2 = 10.99 (滴定法)		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*3 医薬、農薬中間体、ポリウレタン重合用触媒			
生産量 (13年)*4 製造及び輸入 100~1,000 t 未満			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。 *3 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。

*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験									
試験期間					17. 3. 4 ~ 17. 4. 22					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後					日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験
年月日

依
頼

経過

整理番号 K - 1 2 6 5 (N E D O 3 0 6 , 2 - 0 3 0 0)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N - メチルジエタノールアミン (105-59-9)	指示 8年 5月 13日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
	試験期間 9. 4. 1 ~ 9. 6. 10	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH} \\ \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N} \\ \\ \text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH} \end{array}$ 分子式 C ₅ H ₁₃ NO ₂ 分子量 119.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
純度*1 99.6%	間接 BOD 22, 0, 0 (7)%	間接	間接
外観 無色透明液体	直接 TOC 60, 5, 5 (23)%	直接	直接
不純物*1 (物質名, 含有率)	HPLC 65, 6, 4 (25)%		
水分 0.33%			
融点 -10 以下	判定部会 第225回	判定部会 第 回	判定部会 第 回
沸点*2 246~248	9年 7月30日開催	年 月 日開催	年 月 日開催
比重*1 d ₄ ²⁰ 1.039	判定 難分解性	判定	判定
LD ₅₀ *2 4,780mg/kg(oral, rat)	備考	備考	備考
IRチャートの有無 (有) ・ 無	1.回収率 (水 + 被験物質)系 100% (汚泥 + 被験物質)系 100% 試験液を直接分析機器に導入。		
用途*3 接着剤、洗剤等、洗浄剤	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構		
生産量(13年)*5 製造及び輸入 100~1,000 t 未満	3.特記事項 ・開始時に pH 調整を行った。 ・分解生成物の残留は認められなかった。		
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。 *3 12996の化学商品(化学工業日報社)による。

*4 The Physical Properties Database (Jan.2000)(Syracuse Research Corporation)による。 *5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

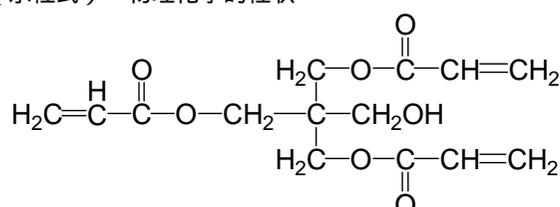
濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験									
試験期間					17. 3. 8 ~ 17. 4. 19					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後					日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験

年月日

依頼

経過

整理番号 K-1278 (NEDO310,2-1003)	分解度試験	備考																													
トリアクリル酸ペンタエリトリトール (3524-68-3)	指示 8年 5月 13日	<p>3.特記事項</p> <p>・BODの算出は組成式による。</p> <p>・入手試料は(汚泥+被験物質)系において変化し、モノアクリル酸ペンタエリトリトール(2-1002)、ペンタエリトリトール(2-0248, K-68, S50.10.27(17)難分解性、S51.7.22(25)高濃縮性ではない)、及びアクリル酸(2-0984, K-32, S49.10.28(7)良分解性)を生成した。アクリル酸は分解し、被験物質、不純物のジアクリル酸ペンタエリトリトール、トリアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド及び変化物のモノアクリル酸ペンタエリトリトール、ペンタエリトリトールは残留した。</p> <p>・逆転条件(開放系)試験結果(4週間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度(%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOC</td> <td>60</td> <td>56</td> <td>60</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>HPLC</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <th colspan="5">ペンタエリトリトールの生成率(%)</th> </tr> <tr> <td>HPLC</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>(培養期間 10.10.2~10.10.30)</p>		分解度(%)				1	2	3	平均	TOC	60	56	60	59	HPLC	100	100	100	100	ペンタエリトリトールの生成率(%)					HPLC	32	35	39	36
	分解度(%)																														
	1		2	3	平均																										
TOC	60		56	60	59																										
HPLC	100		100	100	100																										
ペンタエリトリトールの生成率(%)																															
HPLC	32		35	39	36																										
試験期間 10.10.22~11. 3.18	試験装置 (標)・揮																														
構造式(示性式)・物理化学的性状 	試験濃度																														
	有機物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L																														
分子式 C ₁₄ H ₁₈ O ₇ 分子量 298.29 組成式 C _{2.10} H _{2.69} O _{1.00}	本試験期間 4 週間																														
純度*1 10.6% 外観 無色透明液体	試験結果 間接 BOD 17, 6, 12 (12)% 直接 HPLC 95, 76, 83 (85)%																														
不純物*1(物質名,含有率) テトラアクリル酸ペンタエリトリトール(2-2578) 39.4% 被験物質の二量体 8.0% トリアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド 16.6% 残り 25.4%中にジアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド、被験物質の三量体及び構造不明の不純物を含む。	判定部会 第242回 11年 4月 27日開催																														
融点 -50 以下 沸点 変化のため測定不可 比重*2 d ₄ ²⁰ 1.168 LD ₅₀ *3 2,460 mg/kg(oral, rat) 4,000 mg/kg(skin, rabbit)	溶解度(対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対メタノール 2.1g/L 以上	判定 難分解性 備考																													
IRチャートの有無 (有)・無	安定性 水中で変化する(30)。	1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%																													
用途*4 光硬化反応性希釈剤、塗料、接着剤、ゴム、樹脂などの改質剤、架橋剤	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 1.1 (HPLC法)	試験液をアセトニトリルで希釈して分析機器に導入。																													
生産量(13年)*5 製造及び輸入 100~1,000 t 未満		2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構																													
試料 購入先 Fluka chemie AG																															
経済産業公報発表年月日 年 月 日																															

*1 HPLC 及び LC-MS による。 *2 Fluka chemie AG 添付資料による。 *3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。
*4 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。 *5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度					平成16年度					濃縮度試験					濃縮度試験																								
試験期間					17.3.4 ~ 17.4.26					試験期間					. . . ~ . . .					毒性試験																								
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					依 頼 年 月 日																								
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()																																		
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤					経過																								
第1濃度区										第1濃度区																																		
第2濃度区										第2濃度区																																		
第3濃度区										第3濃度区																																		
濃縮倍率					脂質含有率					濃縮倍率					脂質含有率																													
					開始前 終了後										開始前 終了後																													
					日後										日後					日後																								
第1					水槽濃度()					第1					水槽濃度()																													
					倍率															倍率																								
第2					水槽濃度()					第2					水槽濃度()																													
					倍率															倍率																								
第3					水槽濃度()					第3					水槽濃度()																													
					倍率															倍率																								
審査部会					第47回					17年					9月30日					開催					審査部会					第 回					年 月 日					開催				
判定結果										判定結果																																		
備考					分配係数から類推 (被験物質のlog Powは1.1。モノアクリル酸ペンタエリトリトールは被験物質より極性が高い。ペンタエリトリトールは高濃縮性でない判定済み。)					備考																																		
[実施機関]					財団法人 化学物質評価研究機構																																							

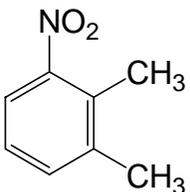
濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験									
試験期間					17. 3. 2 ~ 17. 4. 12					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後					日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験

年月日

依
頼

経過

整理番号 K-1450 (NEDO309,3-0399)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2,3-ジメチルニトロベンゼン	指示 11年 4月 30日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
(83-41-0)	試験期間 12.11. 2~13. 2.26	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₉ NO ₂ 分子量 151.16	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
間接	BOD 0, 0, 0 (0)%	間接	
直接	HPLC 0, 0, 0 (0)%	直接	
純度*1 99.8%	外観 淡黄色透明液体		
不純物*1(物質名,含有率) 水分 0.01% 残り 0.19%は不明	溶解度(対水,その他) 対水 180 mg/L(25) 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1 g/L 以上	審査部会 第 2 回 13年 3月 27日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 7~9		判定 難分解性	判定
沸点*2 245	1-オクタノール/水分分配係数 log Pow = 2.85 (フラスコ振とう法)	備考	備考
密度*1 1.141 g/cm ³ (20)		1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 試験液を直接分析機器に導入。	
LD50	解離定数 解離基なし		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途		2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
生産量(年)			
試料 購入先 和光純薬工業 和光特級			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

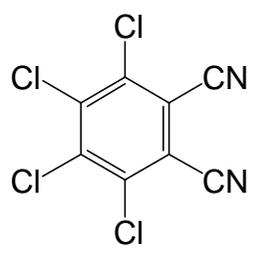
*1 和光純薬工業添付資料による。 *2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成16年度					濃縮度試験									
試験期間					17. 2. 18 ~ 17. 3. 4					試験期間					. . . ~ . . .				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()						
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後					日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()					第1		水槽濃度()											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度()					第2		水槽濃度()											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度()					第3		水槽濃度()											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験
年月日

依
頼

経過

整理番号 K - 1481 (NEDO302,3-1783)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
テトラクロロフタロジニトリル	指示 11年 4月 30日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
[テトラクロロフタロニトリルにて試験実施]	試験期間 12. 3.21~12. 5.15	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .
(1953-99-7)	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ Cl ₄ N ₂ 分子量 265.91	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 2, 0, 0 (1)% 直接 HPLC 0, 0, 0 (0)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
	純度*1 98%	外観 白色粉末	
不純物(物質名,含有率) 残り2%については不明	溶解度(対水,その他) 対水 10 mg/L 以下 対酢酸エチル 10 g/L 以上 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1000 mg/L 以上	判定部会 第254回 12年 6月 21日開催	判定部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 249~252 (分解)	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 3.00 (フラスコ振とう法)	判定 難分解性	判定
沸点	解離定数 解離基なし	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 101% (汚泥+被験物質)系 99.5% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
密度 1.741 g/cm ³ (25)			
LD ₅₀ *2 13,720 mg/kg(oral,mouse)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量(年)			
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

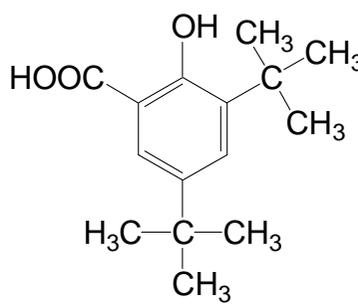
*1 Aldrich Chemical 添付資料による。

*2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。

整理番号 K-1597 (NEDO126,5-1060)	分解度試験		分解度試験		分解度試験			
トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル	契約	13年 4月 6日	契約	年 月 日	契約	年 月 日		
(40220-08-4)	試験期間	13.10.19~14. 3.20	試験期間	. . ~ . .	試験期間	. . ~ . .		
	試験装置	Ⓢ・揮	試験装置	標・揮	試験装置	標・揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状 <chem>CH2=HCOCOH2C-CH2-N(C(=O)N(C(=O)N(C(=O)OCC=CH2)C(=O)OCC=CH2)C(=O)OCC=CH2)C(=O)OCC=CH2</chem> 分子式 C ₁₈ H ₂₁ N ₃ O ₉ 分子量 423.37 組成式 C _{5.84} H _{7.09} N _{0.35} O _{3.05} (元素分析による)	試験濃度		試験濃度		試験濃度			
	有機物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L			
	汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L			
	本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間			
	試験結果	間接	BOD 24, 0, 12 (12)%	試験結果	間接		試験結果	間接
直接		TOC 44, 16, 49 (36)% HPLC 100, 53, 100 (84)%	直接			直接		
純度*1 79.7%	外観 白色固体		審査部会 第14回 14年 5月29日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催			
不純物*1 (物質名, 含有率) 分子量 369 が 11.1% 分子量 495 が 4.0% 分子量 不明 0.9 及び 4.4%	溶解度(対水, その他) 対水 780 mg/L(25) 対1-オクタノール 1800 mg/L以上 (25)		判定 難分解性		判定			
融点*2 96~98	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.9 (HPLC法)		備考 1.回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% 2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所 3.特記事項 ・TODの算出は組成式で行った。 ・被験物質は試験液中で変化し、被験物質より極性が高いトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸(86,27及び106%生成)、トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸モノアクリル酸エステル(13,7及び0%生成)及びトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸ジアクリル酸エステル(0,32及び0%生成)が残留した。		備考			
沸点 測定不可	解離定数 解離基なし							
密度 1.309 g/cm ³ (25)								
LD50								
IRチャートの有無 Ⓢ・無								
用途								
生産量(年)								
試料 購入先 Aldrich Chemical								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

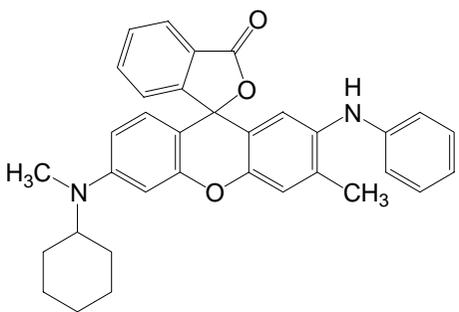
*1 HPLCによる。 *2 Aldrich Chemical MSDSによる。

濃縮度試験					事業対象年度					平成16年度					濃縮度試験契約					年 月 日					毒性試験									
試験期間					16.12.6 ~ 17.1.6					試験期間					. . . ~ . . .					依		年月日												
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					頼														
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()										経過														
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤																			
第1濃度区										第1濃度区																								
第2濃度区										第2濃度区																								
第3濃度区										第3濃度区																								
濃縮倍率					脂質含有率					開始前					濃縮倍率							脂質含有率					開始前							
					終了後					%										終了後					%					魚種()				
					日後					日後					日後					日後					日後					日後				
第1					水槽濃度()										第1					水槽濃度()														
					倍率															倍率														
第2					水槽濃度()										第2					水槽濃度()														
					倍率															倍率														
第3					水槽濃度()										第3					水槽濃度()														
					倍率															倍率														
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催																								
判定結果															判定結果																			
備考															備考																			
<p>分解度試験変化物はHPLC(逆相クロマトグラフィー)において本体より極性が高いため、本体の分配係数から類推</p>																																		
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																																		

整理番号 K - 1650 (NEDO218, 3-3034)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸 (19715-19-6)	事業対象年度 平成14年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 14. 9.30 ~ 14.11.29	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₅ H ₂₂ O ₃ 分子量 250.33	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, 0, 0 (0%) 直接 HPLC 0, 2, 0 (1%)	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 100%	外観 白色粉末	審査部会 第24回 15年 5月20日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物(物質名, 含有率)	溶解度(対水, その他) 対水 16.3 mg/L(25) (カラム溶出法)	判定 難分解性	判定
融点*2 161~164	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 6.06 (Kowin v 1.66 による計算値)	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 98% (汚泥+被験物質)系 98%	備考
沸点 測定不可(約265 で黄色に変化)			
密度 1.086 g/cm ³ (25)	安定性	備考 2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所	備考
LD50			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量(13年)*3 製造及び輸入 100~1,000 t 未滿			
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

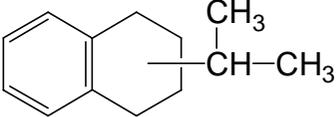
*1 HPLC による。 *2 CRC Handbook of Data on Organic Compounds (HODOC) による。 *3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験			事業対象年度 平成16年度			濃縮度試験			濃縮度試験			毒性試験			
試験期間			16.11.29 ~ 17.3.1			試験期間			. . . ~ . . .			依 頼	年月日		
試験装置 (標)・揮		LC50値 5.82 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)				試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()					経過		
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()									
		被験物質		分散剤				被験物質		分散剤					
				2-メトキシ エタノール											
第1濃度区		50		20000				第1濃度区							
第2濃度区		5		20000				第2濃度区							
第3濃度区								第3濃度区							
濃縮倍率			脂質含有率 開始前 3.38% 終了後 3.02%			濃縮倍率			脂質含有率 開始前 % 終了後 %			魚種()			
		5日後		10日後		19日後		25日後		28日後					
第1	水槽濃度(μg/L)		51.2		46.8		51.0		49.9		48.9			第1	水槽濃度()
	倍率		2.8		2.8		4.1		2.7		2.7		倍率		
		2.4		2.4		3.7		2.9		2.8					
第2	水槽濃度(μg/L)		5.18		5.01		5.17		5.09		5.09		第2	水槽濃度()	
	倍率		23		23		23		23		23			倍率	
		23		23		23		23		23					
第3	水槽濃度()												第3	水槽濃度()	
	倍率													倍率	
審査部会 第47回 17年 9月 30日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果						判定結果									
備考						備考									
[ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 2.4倍 ~ 4.1倍 第2濃度区 23倍															
[回収率] [定量下限濃度]															
試験水 96.7% 試験水 第1濃度区 2.0 μg/L 第2濃度区 0.20μg/L															
供試魚 83.8% 供試魚 120 ng/g															
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構															

整理番号 K - 1655 (NEDO224,5-3631)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
3 - (N-シクロヘキシル-N-メチルアミノ)-6-メチル-7-		事業対象年度 平成14年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
アニリノフルオラン (55250-84-5)		試験期間 14.11.6~15.1.14		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₃₄ H ₃₂ N ₂ O ₃ 分子量 516.63		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD 0(-8),0(-6),0(-3)(0)%	試験結果	間接		試験結果
直接	HPLC 0, 0, 0 (0)%		直接			直接		
純度*1 98.7%	外観 淡桃白色粉末	審査部会 第25回 15年6月20日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物*1 (物質名,含有率) 3-(N-シクロヘキシルアミノ)-6-メチル -7-アニリノフルオラン 0.56%	溶解度(対水,その他) 対水 20.0µg/L(25) (カラム溶出法)	判定 難分解性		判定		判定		
融点	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 8.60 (Kowin v 1.66 による計算値) 安定性	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 96% (汚泥+被験物質)系 96%		備考		備考		
沸点 測定不可 (約250 で黄色に変化)		2.実施機関 ・広栄テクノサービス株式会社 3.特記事項 ・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。						
密度*2 1.236 g/cm ³								
LD50								
IRチャートの有無 (有)・無								
用途								
生産量(年)								
試料								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

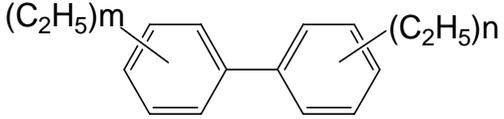
*1 提供先添付資料による。

*2 Beilstein Handbook of Organic Chemistry による。

整理番号 K-1714 (NEDO286,4-0577)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
イソプロピルテトラヒドロナフタレン (26916-60-9)	事業対象年度 平成15年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 15.10.20~15.12.17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状 (推定)  分子式 C ₁₃ H ₁₈ 分子量 174.28 組成式 C _{13.00} H _{18.22}	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 3, 2, 1 (2)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 GC 0, 0, 0 (0)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 86.1%	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率) n-プロピルテトラヒドロナフタレン 9.1% ジイソプロピルテトラヒドロナフタレン 3.1% 不明成分 1.6%	溶解度(対水, その他) 対水 29.2µg/L(25) (カラム溶出法) 対ヘキサン 10 g/L 以上(25)	審査部会 第 3 2 回 1 6 年 3 月 1 7 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -20 以下		判定 難分解性	判定
沸点*2 300 以上(大気圧)	1 - オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.28 (Kowwin v 1.66 による計算値)	備考	備考
密度*2 0.9383 g/cm ³ (25)		1.回収率 (水 + 被験物質)系 93.5% (汚泥 + 被験物質)系 93.0%	
LD50	安定性	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*3 熱媒体			
生産量(年)			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

*1 GC 及び GC-MS による。 *2 入手試料として *3 14705 の化学商品(化学工業日报社)による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成16年度										依 頼	毒性試験		
試験期間		16.11.26 ~ 17.4.18											年月日		
試験装置 (標)・揮		LC50値 0.472 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)													
水槽設定濃度 (μg/L)															
	被験物質	分散剤										経過			
		HCO-40					2-メトキシエタノール								
第1濃度区	4.305	25					19000								
第2濃度区	0.4305	2.5					19000								
第3濃度区															
濃縮倍率 ピークA 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85% 魚種(コイ)						濃縮倍率 ピークB 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85% 魚種(コイ)									
		14日後	28日後	39日後	47日後	60日後			14日後	28日後	39日後	47日後	60日後		
第1	水槽濃度(μg/L)	3.68	4.33	3.72	3.67	3.49	第1	水槽濃度(μg/L)	4.02	4.68	3.98	3.87	3.96		
	倍率	940	1100	1300	2000	1900		倍率	1100	1400	1500	1900	2000		
		1300	2000	2200	1700	2100			1200	1900	2200	1500	2200		
第2	水槽濃度(μg/L)	0.359	0.369	0.369	0.406	0.375	第2	水槽濃度(μg/L)	0.373	0.401	0.405	0.442	0.417		
	倍率	1400	1900	1300	1200	1300		倍率	1100	1800	1700	1700	1800		
		1300	1700	1900	1500	1300			1700	1500	2300	1800	2100		
第3	水槽濃度()						第3	水槽濃度()							
	倍率							倍率							
審査部会		第47回 17年 9月30日 開催													
判定結果															
備考							備考								
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2000倍 第2濃度区 1400倍							[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2000倍 第2濃度区 1900倍								
[回収率] [定量下限濃度]							[回収率] [定量下限濃度]								
試験水 88.0% 試験水 第1濃度区 0.14 μg/L 第2濃度区 0.014μg/L							試験水 85.9% 試験水 第1濃度区 0.18 μg/L 第2濃度区 0.018μg/L								
供試魚 91.0% 供試魚 11 ng/g							供試魚 84.5% 供試魚 17 ng/g								
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構							[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構								

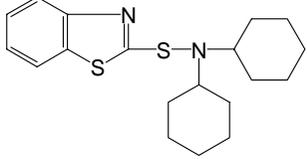
整理番号 K - 2 6 4 C (N E D O 2 5 1 , 4 - 0 0 1 6)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																																		
トリエチルジフェニル	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日																																		
[別名：トリエチルピフェニル] (42343-17-9)	試験期間 16. 7.27~16. 9.13	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .																																		
構造式(示性式)・物理化学的性状  $m+n=3$ m, n は整数 分子式 $C_{18}H_{22}$ 分子量 238.37	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																																		
	試験濃度	試験濃度	試験濃度																																		
	有機物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																																		
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																																		
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																																		
	間接	間接	間接																																		
純度*1 79.5%	外観 淡黄色透明液体	試験結果 間接	試験結果 間接																																		
不純物*1 (物質名, 含有率)	溶解度(対水, その他)	試験結果 直接	試験結果 直接																																		
テトラエチルピフェニル 1.0%	対水(25)(カラム溶出法)	審査部会 第 4 7 回	審査部会 第 回																																		
その他(有機物) 19.5%	ピーク A 2.67µg/L	17年 9月30日開催	年 月 日開催																																		
	ピーク B 0.502µg/L	判定	判定																																		
	ピーク C 15.5µg/L	備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 97.8% (汚泥 + 被験物質)系 97.8% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3.特記事項 ・提供試料を GC で分析したところ、34本のピークが検出された。このうち定量可能な被験物質ピーク5本を本試験において定量した。 各ピークの分解度(GC) <table border="1" data-bbox="1366 1220 1870 1460"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度(%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピークA</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピークB</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピークC</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ピークD</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピークE</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			分解度(%)				1	2	3	平均	ピークA	5	1	0	2	ピークB	6	0	0	2	ピークC	5	1	1	3	ピークD	5	1	1	2	ピークE	1	0	0	0
	分解度(%)																																				
	1			2	3	平均																															
ピークA	5			1	0	2																															
ピークB	6			0	0	2																															
ピークC	5			1	1	3																															
ピークD	5	1	1	2																																	
ピークE	1	0	0	0																																	
融点 -120~20 で明確な融点は認められなかった。	対水(25)(カラム溶出法)																																				
	ピーク D 5.73µg/L																																				
	ピーク E 0.409µg/L																																				
	対アセトニトリル 10 g/L 以上																																				
	対ヘキサン 10 g/L 以上																																				
	対2-メトキシエタノール 10 g/L 以上																																				
沸点 300 以上	1 - オクタノール / 水分配係数	備考 1.回収率 (水 + 被験物質)系 97.8% (汚泥 + 被験物質)系 97.8% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3.特記事項 ・提供試料を GC で分析したところ、34本のピークが検出された。このうち定量可能な被験物質ピーク5本を本試験において定量した。 各ピークの分解度(GC) <table border="1" data-bbox="1366 1220 1870 1460"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">分解度(%)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピークA</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピークB</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピークC</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ピークD</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ピークE</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			分解度(%)				1	2	3	平均	ピークA	5	1	0	2	ピークB	6	0	0	2	ピークC	5	1	1	3	ピークD	5	1	1	2	ピークE	1	0	0	0
	分解度(%)																																				
	1			2	3	平均																															
ピークA	5			1	0	2																															
ピークB	6			0	0	2																															
ピークC	5			1	1	3																															
ピークD	5	1	1	2																																	
ピークE	1	0	0	0																																	
密度 0.9669 g/cm³	log Kow = 6.87 (Kowwin v 1.66 による計算値)																																				
LD50	安定性																																				
IRチャートの有無 (有) ・ 無																																					
用途*2 熱媒体																																					
生産量(年)																																					
試料																																					
経済産業省公報発表年月日 年 月 日																																					

*1 GC による。 *2 14705 の化学商品 (化学工業日报社) による。

濃縮度試験		事業対象年度 平成15年度														依 頼	毒性試験		
試験期間		15.12.8 ~ 16.7.15															年月日		
試験装置	Ⓢ・揮	LC50値 >2.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)															経過		
水槽設定濃度 (μg/L)																			
	被験物質	分散剤																	
		2-メトキシエタノール							HCO-40										
第1濃度区	7.95	20000							50										
第2濃度区	0.795	20000							5										
脂質含有率		開始前 3.30%							終了後 4.73%							魚種(コイ)			
濃縮倍率 ピークA							濃縮倍率 ピークB												
		7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後				
第1	水槽濃度(μg/L)	7.27	8.36	8.42	8.41	7.90		第1	水槽濃度(μg/L)	7.57	8.09	8.25	8.45	8.26					
	倍率	1000	2900	2100	2100	2600			倍率	590	1300	780	1100	1200					
		1300	1800	2700	2300	2500			650	1000	1300	1200	1200						
第2	水槽濃度(μg/L)	0.656	0.710	0.747	0.824	0.833	0.726	第2	水槽濃度(μg/L)	0.691	0.769	0.774	0.778	0.735	0.646				
	倍率	2200	5800	3000	6200	6200	5600		倍率	780	1200	950	1300	1900	1500				
		2400	4000	5100	6000	7000	3900		820	1900	1100	1400	1700	1300					
審査部会		第47回 17年 9月 30日 開催																	
判定結果																			
備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 2400倍 第2濃度区 5800倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 96.3% 試験水 第1濃度区 0.16 μg/L 第2濃度区 0.016μg/L 供試魚 91.7% 供試魚 29 ng/g									備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1100倍 第2濃度区 1600倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 97.7% 試験水 第1濃度区 0.61 μg/L 第2濃度区 0.061μg/L 供試魚 95.3% 供試魚 110 ng/g										
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構									[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構										

濃縮度試験		事業対象年度 平成15年度										依 頼	毒性試験				
試験期間		15.12.8 ~ 16.7.15											年月日				
試験装置	Ⓢ・揮	LC50値 >2.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)															
水槽設定濃度 (μg/L)																	
		被験物質		分散剤										経過			
				2-メトキシエタノール					HCO-40								
第1濃度区		7.95		20000					50								
第2濃度区		0.795		20000					5								
脂質含有率 開始前 3.30% 終了後 4.73%												魚種(コイ)					
濃縮倍率 ピークC							濃縮倍率 ピークD										
		7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後		
第1	水槽濃度(μg/L)	8.00	8.85	8.43	7.51	7.97		第1	水槽濃度(μg/L)	7.81	8.58	8.44	8.00	8.42			
	倍率	790	1900	1400	1700	1900			倍率	710	1600	1100	1300	1700			
		1000	1200	1900	2000	1700				820	1100	1500	1600	1500			
第2	水槽濃度(μg/L)	0.703	0.746	0.740	0.702	0.715	0.650	第2	水槽濃度(μg/L)	0.702	0.763	0.764	0.775	0.773	0.734		
	倍率	2000	3300	2200	4200	5500	5900		倍率	1400	2000	1400	2500	3700	2700		
		1900	3300	3100	4700	6200	4000			1500	2600	1900	2600	3200	2100		
審査部会												第 回 年 月 日 開催					
判定結果																	
備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1800倍 第2濃度区 5300倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 90.9% 試験水 第1濃度区 0.21 μg/L 第2濃度区 0.021μg/L 供試魚 92.1% 供試魚 41 ng/g								備考 [検出器]GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1400倍 [ばく露期間における濃縮倍率] 第2濃度区 1400~3700倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 91.8% 試験水 第1濃度区 0.10 μg/L 第2濃度区 0.010μg/L 供試魚 90.5% 供試魚 19 ng/g									
[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構								[実施機関]財団法人 化学物質評価研究機構									

濃縮度試験		事業対象年度 平成15年度														依 頼	毒性試験		
試験期間		15.12.8 ~ 16.7.15															年月日		
試験装置	Ⓢ・揮	LC50値 >2.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)														経過			
水槽設定濃度 (μg/L)																			
	被験物質	分散剤																	
		2-メトキシエタノール							HCO-40										
第1濃度区	7.95	20000							50										
第2濃度区	0.795	20000							5										
		脂質含有率 開始前 3.30% 終了後 4.73%														魚種(コイ)			
濃縮倍率 ピークE							濃縮倍率 加重平均												
		7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後			7日後	21日後	35日後	48日後	60日後	70日後				
第1	水槽濃度 (μg/L)	7.49	8.06	7.92	7.74	8.44		第1	水槽濃度 (μg/L)										
	倍率	510	1000	770	820	680			倍率	610	1500	1100	1300	1400					
		530	1100	860	940	720				760	960	1400	1500	1300					
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.701	0.771	0.716	0.713	0.844	0.710	第2	水槽濃度 (μg/L)										
	倍率	540	1100	920	1200	1300	1200		倍率	1400	2500	1600	3000	3900	3900				
		640	1600	1000	1600	1600	1100			1400	2400	2300	3300	4200	2700				
審査部会		第 回 年 月 日 開催																	
判定結果																			
備考 [検出器] GC-MS [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 790倍 第2濃度区 1300倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 106% 試験水 第1濃度区 1.1 μg/L 第2濃度区 0.11 μg/L 供試魚 83.6% 供試魚 240 ng/g								備考 [検出器] GC-MS 被験物質は34成分の混合物である。BCFはピークA~Eの成分含量の加重平均を示す。											
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構								[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構											

整理番号 K - 1 2 3 1 (5 - 0 2 5 6)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N - モノ又はジシクロヘキシル - 2 - ベンゾチアゾリルスルフェンアミド	指示 6年 6月 28日	指示 年 月 日	指示 年 月 日
[N, N - ジシクロヘキシル - 2 - ベンゾチアゾリルスルフェンアミド	試験期間 6. 9.27 ~ 7. 2.15	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
にて試験実施] (4979-32-2)	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₁₉ H ₂₆ N ₂ S ₂ 分子量 346.55	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
純度*1 99%以上	間接 BOD 0, 0, 0 (0)%	間接	間接
外観 灰白色グラニュール状	試験結果 直接 HPLC 4, 6, 0 (3)%	試験結果 直接	試験結果 直接
不純物*1 (物質名, 含有率) 2,2'-ジベンゾチアゾリルジスル フィド(5-0265)	溶解度 (対水, その他) 対水 1.9µg/L(25) (フラスコ法) 対アセトニトリル 1 g/L 以上 対アセトン 1 g/L 以上 対クロロホルム 100 g/L 以上 対1-オクタノール 1.2 g/L 以上	判定部会 第 2 0 1 回 7年 3月 2 4 日開催	判定部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 103.5 ~ 105.5	1 - オクタノール / 水分分配係数 log Pow =4.80 以上 (フラスコ振とう法)	判定 難分解性	判定
沸点 300 以上(褐色に変化する)	加水分解性 (25 の半減期) 〔試験濃度 約0.20mg/L〕 振とう pH4 4.92日 pH7 18.6 日 pH9 112 日	備考 ・ 回収率 (水 + 被験物質)系 96.5% (汚泥 + 被験物質)系 94.6%	備考
蒸気圧 7.0 × 10 ⁻⁵ Pa 以下(100)	比重*1 1.25		
LD50	IRチャートの有無 (有) ・ 無		
用途*2 有機ゴム薬品 (加硫促進剤)			
生産量 (年)			
試料			
通産省公報発表年月日 年 月 日			

*1 提供先添付資料による。

*2 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。

濃縮度試験指示															7年 3月 30日														
試験期間					第1・2 7.10.13~8.2.15 第3 7.12.12~8.2.15					試験期間					8.5.20~8.12.18					試験期間					12.11.24~13.2.16				
試験装置		Ⓢ・揮		LC50値 >130 mg/L(48hr)魚種(ヒメダカ)										試験装置		Ⓢ・揮		LC50値 >250 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)											
水槽設定濃度 (μg/L)					水槽設定濃度 (μg/L)					水槽設定濃度 (μg/L)																			
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤				被験物質	分散剤																	
		HCO-20	オリブ油				HCO-20	オリブ油				HCO-20	オリブ油																
第1濃度区	1000	20000	20000		第4濃度区	1	20	20		第6濃度区	0.01	0.2	0.2																
第2濃度区	100	2000	2000		第5濃度区	0.1	2	2																					
第3濃度区	10	200	200																										
濃縮倍率					濃縮倍率					濃縮倍率																			
脂質含有率 第1,第2濃度区 3.9% 第3濃度区 4.0% 魚種(コイ)					脂質含有率 第4濃度区 4.0% 第5濃度区 3.7% 魚種(コイ)					脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 2.10% 魚種(コイ)																			
		2W	4W	6W	8W	10W			2W	4W	6W	8W	10W			14日後	21日後	29日後	35日後	42日後									
第1	水槽濃度(μg/L)	947	947	948	953	954	第4	水槽濃度(μg/L)	0.854	0.836	0.826	0.826	-	第6	水槽濃度(μg/L)	0.00981	0.00912	0.00902	0.00928	0.00914									
	倍率	15	21	25	43	30		倍率	1750	3820	2900	2720	-		倍率	3800	3000	6800	4600	4900									
		24	24	19	80	25			1150	2830	3950	3140	-			5400	2800	5100	6800	7700									
第2	水槽濃度(μg/L)	94.8	94.1	94.3	94.6	-	第5	水槽濃度(μg/L)	0.0737	0.0779	0.0795	0.0807	-																
	倍率	74	316	188	156	-		倍率	3380	7310	5960	7200	-																
		96	118	242	158	-			4310	4870	6460	6010	-																
第3	水槽濃度(μg/L)	9.65	9.71	9.70	9.69	-																							
	倍率	505	762	916	651	-																							
		331	538	618	527	-																							
審査部会															第47回 17年 9月 30日 開催														
判定結果																													
備考 [ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 15~80倍 第2濃度区 74~316倍 第3濃度区 331~916倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第3濃度区 97.3% 試験水 第1濃度区 19 μg/L 第2濃度区 1.9 μg/L 第3濃度区 0.19 μg/L 供試魚 第1,第2濃度区 85.8% 供試魚 第1,第2濃度区 220 ng/g 第3濃度区 90.2% 第3濃度区 68 ng/g										備考 [ばく露期間における濃縮倍率] 第4濃度区 1150~3950倍 第5濃度区 3380~7310倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第4濃度区 95.5% 試験水 第4濃度区 0.021 μg/L 第5濃度区 92.7% 第5濃度区 0.0025 μg/L 供試魚 第4,第5濃度区 85.6% 供試魚 第4濃度区 26 ng/g 第5濃度区 25 ng/g										備考 [定常状態における濃縮倍率] 第6濃度区 6000倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 第6濃度区 95.3% 試験水 第6濃度区 0.00047 μg/L 供試魚 第6濃度区 90.1% 供試魚 第6濃度区 2.5 ng/g									